INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/018809

	101/012	2004/010009		
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl ⁷ F21V8/00, G02F1/13357, G02B6	5/00//F21Y101:02			
According to International Patent Classification (IPC) or to both nation	nal classification and IPC			
B. FIELDS SEARCHED				
Minimum documentation searched (classification system followed by control of Int.Cl ⁷ F21V8/00, G02F1/13357, G02B6	classification symbols) 5/00//F21Y101:02			
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2005 To	itsuyo Shinan Toroku Koho oroku Jitsuyo Shinan Koho	1996 – 2005 1994–2005		
Electronic data base consulted during the international search (name of	f data base and, where practicable, search te	erms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT				
Category* Citation of document, with indication, where a X JP 2002-124114 A (Yukadenshi		Relevant to claim No.		
Mitsubishi Chemical Corp.), 26 April, 2002 (26.04.02), Page 3, right column, lines left column, lines 10; page line 33 to page 11, right co. Figs. 1, 7 & WO 02/5022 A1 & EP & US 2002/135996 A1	44 to page 5, 8, left column, lumn, line 2; 2 1215526 A1	1,4-6,8-9		
Further documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.			
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family			
Date of the actual completion of the international search 14 March, 2005 (14.03.05)	Date of mailing of the international search report 29 March, 2005 (29.03.05)			
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer			
Facsimile No. Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2004)	Telephone No.			

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/018809

Continuation of Box No.III of continuation of first sheet(2)

Since claims 4, 5-9, 11 and 13 refer to independent claim 1, the matter common to claims 1, 4, 5-9, 11 and 13 is the features defined in the independent claim 1.

This common matter, however, is not novel since it is disclosed in document JP 2002-124114 A (Yukadenshi Co., Ltd., Mitsubishi Chemical Corp.), 26 April, 2002 (26.04.02), from page 3, right column, line 44 to page 5, left column, line 10, from page 8, left column, line 33 to page 11, right column, line 2, and Figs. 1 and 7. Consequently, this matter is not a special technical feature according to PCT Rule 13.2, second sentence, since it fails to define a contribution over the prior art.

Since claim 10 refers to claim 9, the matter common to claims 9 and 10 is the features defined in claim 9.

For the same reason stated above regarding claims 1, 4, 5-9, 11 and 13, this common matter cannot be a special technical feature since it is also disclosed in the above-mentioned document.

There is no common matter other than the matter common to claims 2-3 and 14-21 which can be considered as a special technical feature within the meaning of PCT Rule 13.2, second sentence.

Consequently, no technical relationship defined in PCT Rule 13.2 can be seen among the following eleven groups of inventions, and thus it appears that these inventions do not satisfy the requirement of unity of invention.

- 1. claim 1
- 2. claims 2-3, 14-21
- 3. claim 4
- 4. claim 5
- 5. claim 6
- 6. claim 7
- 7. claim 8
- 8. claim 9
- 9. claim 10
- 10. claims 11-12
- 11. claim 13

Since the international search having been carried out on claim 1 as the main invention also covers the inventions of claims 4-6 and 8-9 without any additional searching efforts, the inventions of claims 1, 4-6 and 8-9 are considered to be the invention first mentioned in the claims.

PCT

国際調査報告

International Search Report

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 JHT の書類記号 - PC		今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/0	18809	国際出願日(日.月.年)	16. 12.	2004	優先日 (日.月.年)	19. 12.	2003
出願人 (氏名又は名称) 日立化成工業株式会社							
国際調査機関が作成したここの写しは国際事務局にも			規則第41条(PCT18条)の規定に従	い出願人に送	付する。
この国際調査報告は、全部	3で 4	_ページである	5.				
□ この調査報告に引用	された先行技	術文献の写し	も添付されて	いる。			
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 □ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。							
b. 二 この国際出願は	、ヌクレオラ	チド又はアミノ	ノ酸配列を含ん	んでいる(第	I欄参照)。		
2.	·部の調査がて	できない(第1	『欄参照)。				
3. 🛛 発明の単一性が	「欠如している	5 (第Ⅲ欄参照	照)。				
4. 発明の名称は	X 出願ノ	いが提出したも	しのを承認する	5.			
	□ 次に示	示すように国際	祭調査機関が何	乍成した。			
5. 要約は	X 出願人	が提出したも	のを承認する	5.			
	国際課		戊した。出願ノ	人は、この国	際調査報告の		の規定により 1カ月以内にこ
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第4 図とする。 X 出願人が示したとおりである。							
	<u></u> ш	願人は図を示	さなかったの	で、国際調査	€機関が選択し	た。	
■ 本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。							
b 要約とともに公表される図はない。							

第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見(第1ページの2の続き)
法第8条第3項 (PCT17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。
1. □ 請求の範囲 は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。 つまり、
2. 請求の範囲は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. □ 請求の範囲は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に 従って記載されていない。
第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見(第1ページの3の続き)
次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。
第III欄の続きを参照。
1. 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の範囲について作成した。
2. <u> </u>
3.
4. X 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。
1, 4-6, 8-9
追加調査手数料の異議の申立てに関する注意
□ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

	属する分野の分類(国際特許分類(I P C)) n t. C l. ⁷ F 2 1 V 8 / 0 0, G 0 2 F 1 //F 2 1 Y 1 0 1 : 0 2	/13357, G02B6	/00	
B. 調査を				
	最小限資料(国際特許分類(IPC))		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
I	nt. C1. 'F21V8/00, G02F1 //F21Y101:02	/13357, G02B6	/00	
最小限資料以外	外の資料で調査を行った分野に含まれるもの			
日本国	実用新案公報 1922-1996年			
	公開実用新案公報 1971-2005年			
	実用新案登録公報			
	用した電子データベース (データベースの名称、	調査に使用した用語)		
C. 関連する	ると認められる文献			
引用文献の	C party Sara Delian			関連する
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連する。	ときは、その関連する箇所の	の表示	請求の範囲の番号
X	JP 2002-124114			1,
	(油化電子株式会社、三菱化学株式			4-6,
	2002.04.26,第3ページ			8 - 9
	第5ページ左欄第10行、第8ページを欄第10行、第8ページを欄第10行、第8ページを開催りた。			
	第11ページ右欄第2行,図1,	7		
	&WO 02/5022 A1 &EP 1215526 A1			
	&US 2002/135996	۸ 1		
	$\begin{bmatrix} & 0.5 & 2 & 0 & 0 & 2 \\ & & & & & & \end{bmatrix}$	A I		
□ C欄の続き	きにも文献が列挙されている。 	□ パテントファミリ	ーに関する別	紙を参照。
* 引用文献の		の日の後に公表され		
	車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す	「T」国際出願日又は優久	-	された文献であって Ě明の原理又は理論
もの 「E」国際出願	頭日前の出願または特許であるが、国際出願日	の理解のために引		日外の水準又は连端
以後にな	☆表されたもの	「X」特に関連のある文献	武であって、当	
	上張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行	の新規性又は進歩		
	(は他の特別な理由を確立するために引用する 理由を付す)	「Y」特に関連のある文献		自該又厭と他の1以目明である組合せに
	はる開示、使用、展示等に言及する文献	よって進歩性がない		
「P」国際出願	質日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	「&」同一パテントファ	ミリー文献	
国際調査を完了	了した日 14.03.2005	国際調査報告の発送日	29. 3. 2	.005
同陸調本地則 。	0夕毎日18年で生	株許庁徳本宮(梅田のも)	な職員)	2 2 2 2 2 5
	D名称及びあて先 国特許庁(ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある 山本 忠博	3(戦員)	3 X 3 2 2 5
垂	耶便番号100-8915	E-11. (E-14		
東京都	『千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-358	1-1101	内線 3371

第III欄の続き

請求の範囲4, 5-9, 11及び13は、独立請求の範囲1を引用しているから、請求の範囲1, 4, 5-9, 11及び13に共通の事項は、独立請求の範囲1に記載された事項である。

しかしながら、当該共通事項は文献 JP 2002-124114 A (油化電子株式会社、三菱化学株式会社),2002.04.26,第3ページ右欄第44行-第5ページ左欄第10行、第8ページ左欄第33行-第11ページ右欄第2行及び図1,7に開示されているとおり、新規でないことが明らかである。結果として、当該事項は先行技術に対して行う貢献を明示していないから、PCT規則13.2の第2文に記載されたとおり、当該事項は特別な技術的特徴ではない。

請求の範囲10は、請求の範囲9を引用しているから、請求の範囲9-10に共通の事項は、請求の範囲9に記載された事項である。

しかしながら、当該事項は、前記の請求の範囲 1, 4, 5-9, 11 及び 13 での判断と同様、上記文献に開示されており、特別な技術的特徴ではない。

PCT規則13.2の第2文に記載された特別な技術的特徴と考えられる他の共通の事項は、請求の範囲2-3,14-21に共通する事項以外に存在しない。

してみれば、以下に記載した11群の発明の間に、PCT規則13.2に記載された技術的な関係を見いだすことはできないから、これらの発明は単一性の要件を満たしていないことが明らかである。

- 1. 請求の範囲1
- 2. 請求の範囲2-3, 14-21
- 3. 請求の範囲4
- 4. 請求の範囲 5
- 5. 請求の範囲 6
- 6. 請求の範囲 7
- 7. 請求の範囲 8
- 8. 請求の範囲 9
- 9. 請求の範囲10
- 10. 請求の範囲11-12
- 11. 請求の範囲13

なお、請求の範囲4-6, 8-9に係る発明は、主発明である請求の範囲1の調査を行うにあたり、まったく追加の調査を行うための努力を要しないものであるため、請求の範囲1, 4-6, 8-9に係る発明を請求の範囲に最初に記載されている発明とした。